

ひよ子こども園かみみね 京原さん（吉野ヶ里町）



ボクシングの日本スーパーミドル級王座決定戦に向け練習に励む京原和輝選手＝福岡市の博多協栄ボクシングジム

上峰町
吉野ヶ里町

上峰町のこども園の保育教諭で現役プロボクサーの京原和輝さん(29)＝吉野ヶ里町＝が22日、日本タイトルをかけた一戦に臨む。「どちらが欠けても自分は完成しない」と戦う保育教諭ボクサーとして両立に心血を注ぐ。日本王座決定戦の挑戦は2度目で、「ベルトを佐賀に持ち帰る」と園児や応援する人たちへの吉報を誓う。

保育教諭ボクサー、王座戦へ

22日、後楽園ホール「佐賀にベルト持ち帰る」

ボクシングとの出会いは、鳥栖工高の柔道部引退後。最初は体形維持を目的に始めたが、ロンドン五輪で金メダルを獲得した村田諒太選手の活躍に心を揺さぶられ、本格的に取り組むことを決意。19歳でプロデビューした。現在は博多協栄ボクシングジム（福岡市、糸田将彦会長）の看板選手として活躍する。

183センチの長身から繰り出す力強い右ストレートや左右のフックが武器。戦績は15戦9勝（4KO）3敗3分けて、日本王座決定戦は2025年4月にミドル級で挑み、惜しくも敗れた。昨春秋、スーパーミドル級に階級を一つ上げ、日本ランキング2位につけている。

昨年6月に長男が生まれ、家庭環境が変わった。「子育てを妻に任せっきりにするわけにはいかない」と、今年4月から勤務先を佐賀市から自宅に近い「ひよ子こども園かみみね」に移り、時間を捻出。「家族の時間も大切にしたい」

と週末は一緒に過ごす時間に充てる。



保育教諭として、園児と一緒に歌や踊りをする京原和輝さん＝上峰町のひよ子こども園かみみね

22日に東京の後楽園ホールで開かれる日本王座決定戦では、日本ランキング1位の草村龍弥選手（一力ジム）と対戦する。接近戦を得意とする京原さんに対し、身長190センチのリーチを生かして距離を取るスタイルだ。京原さんは「経験は自分が上。キャリアを生かして戦う」と意気込む。

デビュー時から10年を共にするトレーナーの浦幸治さん(45)は「信じ合えばタイトルは取れる」と勝利へと後押しする。勤務先の池松英治園長(57)は、2歳児を受け持つ京原さんの優しく接する保育力を評価し、「試合までの調整期間は、園を挙げてサポートしたい」と応援する。（古賀真理子）

